



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	7,234	2.2	844	0.2	862	0.6	580	9.7
28年3月期第3四半期	7,081	3.0	842	5.0	857	3.9	529	5.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 637百万円(45.6%) 28年3月期第3四半期 437百万円(△30.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第3四半期	175	75	—	—
28年3月期第3四半期	160	17	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,805	72.9	10,974	72.9	10,974	72.9
28年3月期	14,674	70.1	10,469	70.1	10,469	70.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 10,792百万円 28年3月期 10,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	—
29年3月期	—	20.00	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,300	2.6	1,290	6.3	1,310	6.4	870	4.3	263	37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	3,601,681株	28年3月期	3,601,681株
29年3月期3Q	298,579株	28年3月期	298,394株
29年3月期3Q	3,303,192株	28年3月期3Q	3,303,320株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策の下支えもあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、新興国をはじめとする海外経済の減速懸念や英国のEU離脱問題に伴う世界経済の不確実性の高まりなど、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

医療・介護・福祉業界におきましては、高齢者人口の増加による需要拡大が期待されるものの、平成28年度の診療報酬改定が8年ぶりのマイナス改定となり、医療費適正化と医療機関の機能分化の推進に向けて、引き続き厳しい対応を求められております。

このような環境のもと当社グループは、いち早く医療・介護・福祉等に関わる顧客ニーズの多様化を視野に、状況に即した対応に努め、各種ノウハウの蓄積と営業力の強化を継続してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は7,234百万円（前年同四半期比2.2%増）と増収、利益面では、連結営業利益は844百万円（前年同四半期比0.2%増）、連結経常利益は862百万円（前年同四半期比0.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は580百万円（前年同四半期比9.7%増）と増益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、医療技術の進歩などを背景として医療用酸素ガスの消費量が緩やかな減少傾向にあるなか、保安と安定供給を第一義とした事業運営に徹しつつ、新規顧客の獲得と新規販路の開拓などの営業努力を重ねましたが、売上高は2,389百万円（前年同四半期比4.5%減）、利益面では仕入コストの低減に加え経費削減に努めたことなどから、セグメント利益は282百万円（前年同四半期比59.8%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、便利なりモコン機能と安心のモニタリング機能でHOT（在宅酸素療法）の患者様の療養生活をサポートする高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮装置「WESTELLA（ウイステラ）-5T」の販売を開始するなど拡販に努めたほか、「人工呼吸器」、「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）のレンタル台数も好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は3,012百万円（前年同四半期比6.6%増）、利益面では人件費をはじめとした諸経費の負担増などから、セグメント利益は371百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関の増築・移転新築工事の需要が一巡し物件数が減少傾向にあるなか、施工コストの低減など競争力の強化に取り組みました。

これらの結果、売上高は784百万円（前年同四半期比24.2%増）、セグメント利益は132百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連商品のレンタル及び販売部門におきましては、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への継続的な営業強化に努めました。また、訪問看護・居宅支援事業所におきましては、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）に続き、平成28年4月に「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）を開設し、業務範囲の更なる拡大を図りました。

これらの結果、売上高は381百万円（前年同四半期比0.2%増）、セグメント利益は42百万円（前年同四半期比100.8%増）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」(東京都杉並区)におきましては、24時間看護師常駐、地元医療機関との連携強化などの付加価値サービスの提供を通じて、ご入居者様、ご家族様に「安心と安全」をお届けすることをモットーとした運営管理に徹し、新規ご入居者様の確保に注力いたしました。また、通所介護施設「あしつよ・文京」(東京都文京区)、「あしつよ 巣鴨」(東京都豊島区)、「あしつよ 王子」(東京都北区)は、地元に着したサービスの提供と新たな顧客ニーズの発掘に努め、稼働率アップを図ることができました。

これらの結果、売上高は221百万円(前年同四半期比10.1%減)、利益面ではセグメント損失40百万円(前年同四半期セグメント損失27百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は14,805百万円(前連結会計年度末比131百万円増)となりました。これは主に、現金及び預金が140百万円、たな卸資産が80百万円、有形固定資産が84百万円、投資有価証券が113百万円増加、受取手形及び売掛金が341百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,831百万円(前連結会計年度末比373百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が358百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は10,974百万円(前連結会計年度末比504百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払いにより利益剰余金が448百万円、その他有価証券評価差額金が64百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,018,152	7,159,002
受取手形及び売掛金	2,141,695	1,800,193
たな卸資産	156,230	237,060
繰延税金資産	58,102	58,164
その他	81,943	117,107
貸倒引当金	△3,680	△3,632
流動資産合計	9,452,445	9,367,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	576,067	549,641
土地	2,045,369	2,115,749
その他(純額)	1,171,833	1,212,053
有形固定資産合計	3,793,270	3,877,444
無形固定資産		
投資その他の資産	17,258	18,597
投資その他の資産		
投資有価証券	714,789	828,400
その他	698,373	715,303
貸倒引当金	△1,689	△2,028
投資その他の資産合計	1,411,473	1,541,675
固定資産合計	5,222,002	5,437,716
資産合計	14,674,447	14,805,612
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,153,774	1,795,072
未払法人税等	191,431	107,741
賞与引当金	116,900	60,300
その他	885,219	999,923
流動負債合計	3,347,325	2,963,037
固定負債		
役員退職慰労引当金	456,060	470,460
その他	401,378	398,030
固定負債合計	857,438	868,490
負債合計	4,204,763	3,831,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	9,717,043	10,165,456
自己株式	△511,197	△511,838
株主資本合計	10,155,733	10,603,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,699	174,400
退職給付に係る調整累計額	24,883	14,102
その他の包括利益累計額合計	134,583	188,503
非支配株主持分	179,366	182,074
純資産合計	10,469,684	10,974,084
負債純資産合計	14,674,447	14,805,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,081,988	7,234,933
売上原価	3,435,250	3,541,755
売上総利益	3,646,737	3,693,177
販売費及び一般管理費	2,804,243	2,848,864
営業利益	842,494	844,312
営業外収益		
受取利息	2,721	2,590
受取配当金	10,160	11,521
その他	6,015	9,002
営業外収益合計	18,898	23,114
営業外費用		
支払利息	3,987	5,220
営業外費用合計	3,987	5,220
経常利益	857,404	862,206
特別利益		
固定資産売却益	—	141
特別利益合計	—	141
特別損失		
固定資産売却損	—	17
固定資産除却損	146	246
特別損失合計	146	263
税金等調整前四半期純利益	857,258	862,084
法人税等	326,492	279,915
四半期純利益	530,765	582,169
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,679	1,627
親会社株主に帰属する四半期純利益	529,085	580,541

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	530,765	582,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94,692	65,782
退職給付に係る調整額	1,540	△10,782
その他の包括利益合計	△93,152	54,999
四半期包括利益	437,613	637,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	437,721	634,461
非支配株主に係る四半期包括利益	△108	2,707

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,501,603	2,826,789	632,168	380,295	246,624	6,587,481	494,507	7,081,988
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	77,314	—	—	77,314	—	77,314
計	2,501,603	2,826,789	709,483	380,295	246,624	6,664,795	494,507	7,159,302
セグメント利益 又は損失(△)	176,823	471,791	124,358	20,961	△27,613	766,320	76,173	842,494

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	766,320
「その他」の区分の利益	76,173
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	842,494

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,389,994	3,012,145	784,882	381,199	221,835	6,790,057	444,875	7,234,933
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	78,261	—	—	78,261	—	78,261
計	2,389,994	3,012,145	863,143	381,199	221,835	6,868,318	444,875	7,313,194
セグメント利益 又は損失(△)	282,636	371,768	132,093	42,090	△40,996	787,592	56,737	844,330

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	787,592
「その他」の区分の利益	56,737
セグメント間取引の消去	△18
四半期連結損益計算書の営業利益	844,312

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。